長岡京市第2次みどりの基本計画

みどりの現況及び主要プロジェクトの進捗状況

※赤字:強み、青字:弱み

1. みどりの現況

【量・配置】

- 市域の約半数がみどりで覆われ、広・針葉樹、果樹園や田・畑地に加え、**「竹林」といった特徴あるみどり**も存在している。
- 市内全域に、西山公園、西代里山公園、長岡天満宮、勝竜寺城公園、恵解山古墳公園などが立地している。
- まちづくり条例により**「公園等の設置及び整備基準」を規定**し、市街地における公園・緑地の確保に努めている。
- **生け垣等助成金**や工場等の開発とあわせた**民地(市民等による管理)のみどりの増加**を図っている。
- **公園緑地の徒歩圏(500m 圏域)カバー率は 100%**となっている。
- **一人当たりの都市公園面積は 3.15 m²/人**と周辺都市と比較して少ない。
- **都市公園の供用率は 43.4%**と周辺都市と比較して低い。
- 市街化区域^{*1}における**生産緑地^{*2}が減少**している。

【質】

- 光明寺や楊谷寺、長岡天満宮など、社寺境内地のみどりが**景観形成に寄与**している。
- 西山の竹林など、**生物多様性や地球温暖化に寄与**している。一方、**将来的な荒廃・放置竹林が懸念**される。
- まちづくり条例により、公園・緑地の確保に努めているが、**一部、利用ニーズが低い空間**となっている。※**防災倉庫などが併設**されている公園も存在している。

【管理】

- 公園の管理について、**LINE を用いた利用者による通報システム**を実施している。
- 法改正に伴う適切な維持管理に加え、老朽化に対応した設備更新が必要であり、**将来的な費用負担の増加**が予測される(公園長寿命化に向けた直近 10 年間の概算費用 418,449 千円)。
- まちづくり条例により小規模な公園が増加しており、**行政の維持管理負担**となっている。※所管課も多岐にわたる。

※1 「市街化区域」とは、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため必要があるときに定める区域区分のうち、すでに市街地を形成している区域及びおおむね十年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のことです。

※2 生産緑地とは、良好な都市環境の形成を図るために、市街化区域内農地の緑地としての機能を活かし、計画的に農地を保全していこうとする制度です。

【活用】

- **県外からも来訪者がいる西山公園**(ジャブジャブ池)や本市の**歴史的資源である社寺における社寺林**など観光資源となるみどりが存在している。
- 西山公園グリーンハウス内に飲食店・売店を設置予定(更なる魅力向上)。
- 西山では、**自然環境調査や植生調査**に加え、環境学習事業として、**里山体験**などを実施。
- 社会情勢の変化等に伴い求められる“グリーンインフラ^{※3}”や“ウォーカブル^{※4}”、“インクルーシブ^{※5}”、“身近なみどり空間”、“ネイチャーポジティブ^{※6}”など**多様な役割も期待**される。

【協働】

- みどりのサポーター制度(長岡京市緑の協会)による管理や、西山森林整備推進協議会、竹林での活動、街路樹等の花いっぱい運動など、**市民活動が活発**している。
- **活動団体員の高齢化や減少**(共働き世帯の増加)が進行している。
- 公園再整備に関する村田製作所との協定や森林保全に参画しているサントリー、西田林業などとの**企業連携に取り組んでいる**。
- **地区まちづくりと連動**した「東口暫定駅前広場(阪急)」が整備されている。
- ふるさと納税にて「京都西山再生プロジェクト」を実施している。
- 市民意識調査では、**「西山など自然環境の身近さ」、「まちのみどりの豊富さ」**の満足度が高い。
- 小畑川(緑地、公園)や犬川(河川敷、桜並木)、小泉川など**市民による美化活動等**が行われている。

※3 グリーンインフラとは、自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方で、昨今、海外を中心に取組が進められ、我が国でもその概念が導入されつつあるほか、国際的にも関係する様々な議論が見られるところです。

※4 ウォーカブルとは、「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語で、文字通り「歩きやすい」「歩きたくなる」「歩くのが楽しい」といった語感をもっています。国土交通省では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」としてウォーカブルなまちなかづくりを推進しています。

※5 インクルーシブ公園とは、「障がいの有無や年齢、性別、国籍などを問わず、すべての人が楽しく遊べること」を目的とする公園です。

※6 ネイチャーポジティブとは、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくことを意味する言葉です。生物多様性や自然資本の観点から、社会・経済活動による自然への負の影響を抑え、プラスの影響を与えることを目指す概念です。

2. 計画フレームの達成状況

①緑地の確保目標水準

	目標	現況
将来市街化区域面積に対する割合	30% 概ね 290ha	—
将来都市計画区域面積に対する割合	50% 概ね 1,000ha	—

※現況値については、次回以降の委員会で提示

②公園緑地等の施設として整備すべき緑地の目標水準

	目標	現況	【参考】中間見直し時(H28)
都市公園(m ² /人)	4.5	3.15(R4)	3.1
都市公園等(m ² /人)	14.2	—	11.1

※都市公園等の現況値については、次回以降の委員会で提示

③緑化重点地区の公園整備水準と緑被率

	目標	現況	【参考】中間見直し時(H28)
公園整備水準(m ² /人)	1.00	—	0.83
緑被率(%)	15.0	—	9.4

※現況値については、次回以降の委員会で提示

参考. 主要プロジェクトの進捗状況

現行計画	主要プロジェクト	実施内容	実施状況
1	西山総合保全プロジェクト	令和5年度まで森林整備面積	337.51/800ha
		市内産木材の利用	JR 東口トイレ内装、 中学校技術の木工 キット他
		自然環境調査・植生調査の実施回数	日本自然保護協会 のモニタリング 1000 里地調査実 施。毎年実施して おり、結果を年度別 で集計。
		西山ファミリー環境探検隊 実施回数(R5)	4回/年
		西山ファミリー環境探検隊 参加人数(R5)	54 家族 139 名
		森林整備ボランティアイベント 参加人数 (R5)	21 名
		森林ボランティア養成講座 参加人数(R5)	13 名
		西山ふれあいワークショップ 参加人数(R5)	5 組 11 名
		農業祭 来場者数	2000 人(推定)
		環境フェア 来場者数(R5)	
			鳥獣対策(市内全体)

現行計画	主要プロジェクト	実施内容	実施状況
			策定(R4 年度)
2	小畑川緑地帯形成プロジェクト	小畑川クリーン作戦 実施回数(R5)	3 回(七小、八小、九小の地域コミュニティ協議会が各1回担当)
3	みどりの公共施設プロジェクト	公共施設の緑化状況	—
4	緑化重点地区整備プロジェクト	緑化重点地区(=中心市街地)における緑化状況	—
5	みどりの散策路ネットワーク形成プロジェクト	生垣設置 助成金交付件数(うち竹垣の件数)(R5)※竹垣のみの設置は補助対象とならない	1 件(竹垣は 0 件)
6	身近なみどりを活かすまちづくりプロジェクト	ホテル観賞イベント開催(R5)	3300 人(推定)
7	みんなで彩る 花とみどりの長岡京プロジェクト	みどりのサポーター制度(団体数、人数)(R5)	106 団体 1293 人
		みどりで笑顔のつどい(参加人数)(R5)	86 人
		講習会の実施(回数、参加者数)(R5)	緑の講習会: 5 回 計 71 人 出前講座: 6 回 計 102 人
		長岡京市緑の協会によるグリーンカーテンコンテスト・講習会(R5)※コンテストは令和 4 年度で終了。緑の講習会の実施回数に含む。	1 回